

臨床研究に関する公開情報

淀川キリスト教病院薬剤部では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法やご自身の情報について知りたい場合、この研究にご自身のカルテ情報が利用されることを拒否される場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等はお答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 周術期乳がん化学療法におけるドセタキセルによる皮膚障害に及ぼす G-CSF の影響

[研究責任者] 薬剤部 阿部 礼奈

[研究の背景]

周術期乳がんの化学療法において、好中球を事前に上昇させる G-CSF 製剤を投与することが国内のガイドラインで推奨されています。一方、乳がん化学療法で使用されるドセタキセルには発疹・紅斑などの皮膚障害の副作用があります。G-CSF 製剤はこれらの皮膚障害の発現メカニズムを間接的に誘発する可能性があるものの、その実態は明らかにされていません。

[研究の目的]

ドセタキセルを投与する患者さまに G-CSF 製剤を投与することで皮膚障害のリスクが増加するのかを調査します。

[研究の方法]

●対象となる患者さま

2013年2月1日から2026年3月31日までの間に周術期の化学療法でドセタキセルを投与された乳がんの患者さま

●利用する情報

カルテ情報:年齢、抗がん薬の投与歴、デキサメタゾンの投与歴、常用薬、G-CSF 製剤の投与歴、皮膚症状の有無、併存疾患

●評価項目

発疹、掻痒、紅斑、手足症候群を含む皮膚障害の発現頻度

●情報の管理

得られた情報は、淀川キリスト教病院薬剤部でパスワード付きのファイルに保存し、集計、解析が行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び

付ける対応表を研究責任者が作成し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、パスワードで保護するとともに研究責任者のみが扱い、院外へ持ち出しは行いません。

研究のために調査した情報は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[情報利用の拒否についての申出期限]

2026年7月末日まで

この研究にご自身のカルテ情報が利用されることを希望されない場合は、上記期限までに下記の「問い合わせ先」へお申し出ください。

[問い合わせ先]

淀川キリスト教病院 薬剤部 阿部礼奈

電話 0120-364-489